



2月補正予算

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保の予算(16億円)が計上されました

- ▶ 『神戸市新型コロナウイルス接種連携本部』が設置されました。神戸市・神戸市医師会・神戸市民間病院協会・神戸市薬剤師会の連携で、迅速に市民へのワクチン接種が遂行されます。
- ▶ 接種が受けられる場所は、市内の医療機関や集団接種会場。北区では集団接種会場が2か所になる予定です。
- ▶ コロナワクチンは、主に発症や重症化の予防が期待されより多くの方に、より早く接種していただくことにより重症患者や発症者を減らすことが出来るとされています。
- ▶ 接種費用は無料です。

※ワクチン接種は強制ではありません。接種を受ける方には、接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意志で同意がある場合に限り、接種が行われます。

ワクチン接種に関する問い合わせはこちら

神戸市新型コロナウイルス接種コールセンター

☎078-277-3320

受付時間	平日 8:30~20:00 / 土日祝 8:30~17:30
受付内容	<ul style="list-style-type: none"> ・接種可能な市内医療機関の紹介 ・集団接種の会場、予約方法の案内 ・接種券が届かない、再発行などの問い合わせ

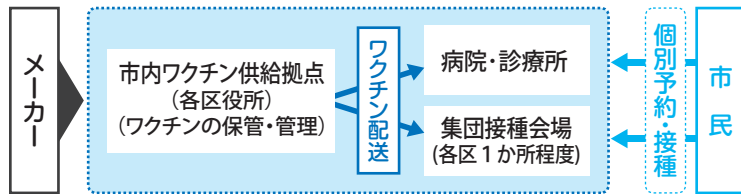
電話での問い合わせが困難な人は

☒ pwd-vaccine-kobecity@persol.co.jp

市内ワクチン配送ネットワークの構築

神戸市に住民票がある方は、原則として、住民票所在地である神戸市内の医療機関や集団接種会場で接種を受けていただきます。

市内ワクチン配送ネットワーク



ワクチン接種のスケジュール(予定)

令和3年3月下旬 / 接種券(65歳以上の高齢者)の発送、接種予約受け
令和3年4月から / 高齢者へのワクチン接種を開始
その後、基礎疾患のある方、その他一般の方々への接種を迅速に実施します。

	3月	4月	5月	6月
高齢者への優先接種 (市内病院・診療所・集団接種会場)	事前シミュレーション	接種券郵送	接種	予約受付
一般市民向け			コールセンターの設置	

新型コロナウイルス感染症 相談窓口について

「診察受けるべき?」

受診する前に

【発熱・せき等】の症状が生じた場合は **かかりつけ医** に **まずは、電話を**

神戸市電話相談窓口 (24時間受付:多言語対応可)

新型コロナウイルス専用健康相談窓口

☎078-322-6250

ファクシミリ

FAX 078-391-5532

対象者

感染を心配されている方、予防・感染症に対する相談、検査について、身近な方の感染がわかった場合、入院・入所について、どこに相談すればいいかわからない場合



生活にお困りの方は **北区役所・北神区役所のくらし支援窓口**で相談を受付中!

平日の9時から17時30分まで受け付けています。

📍 北区役所 ☎078-593-1111

📍 北神区役所 ☎078-981-5377



代表電話につながりますので「くらし支援の相談をしたい」とお伝えください。

新型コロナウイルスに関連する新しい情報などは神戸市ホームページよりご確認ください。

神戸市 🔍



指定都市 行財政問題懇談会

神戸市の課題について 立憲民主党へ要望しました！

2020年
11/19



▶ 衆議院第二議員会館にて、立憲民主党の国会議員へ要望

今年度は神戸市会の『大都市行財政制度に関する特別委員会』に所属しています。この委員会では、年に一度、神戸市会議員として各政党に対して大都市財政の実態に即応する財源の拡充に関して要望活動を行います。

全国に20市ある政令市議員の一人として、私は所属政党である立憲民主党国会議員へ、下記の2点について要望しました。

地域医療へ財政支援を！

新型コロナウイルス感染症による影響に伴って生じる財源不足に対して、**地方交付税を増額し、財源を確保していただきますようお願いしたい。**

神戸市は医療産業都市として、世界一と認定されたスーパーコンピューター富岳を利用した飛沫感染のシミュレーション等で新型コロナウイルス対策に取り組んでいる。またコロナに感染された方、特に重症の方を一般病棟と分ける専門の臨時病棟(36床)が、日本で初めて完成し、運用されている。ただ、こうした市民病院機構という病院群の減収幅が新型コロナウイルス感染症の影響を受け大きくなっている。**国からの地域医療への財政支援を緊急でお願いしたい。**



▶ 中央市民病院のコロナ専門の臨時病棟 (神戸市立医療センター 中央市民病院提供)

困っている女性へ支援の充実を！

緊急事態宣言が出され、経済が萎縮しパート、アルバイト等の非正規雇用で働く、特に女性や若年世代に影響が出ています。

以前から神戸市北区にある「**小さいのちのドア**」は、直接的な相談ができる窓口ということで、思いがけない妊娠で行き場のない妊婦の方など、広域からたくさんの女性の方が駆け込んで来られている現状があります。

ぜひ国の制度として行き場の無い妊婦さん、思いがけない妊娠で困っている方に、単なる電話相談だけでなく、直接的な支援ができるようなあたたかい国をつくっていただきたい。



▶ 「小さいのちのドア」 永原郁子院長 (右)

Topics

北区トピックス

北神地域の急性期医療を守っていきます！

北神・三田地域の急性期医療の確保に関する検討委員会の設置について

済生会兵庫県病院については、北神地域の急性期医療を30年以上にわたり担ってきました。そして今後も引き続き北神地域での急性期医療を守っていくために、神戸市が調整役として間に入る形で「連携会議」が開催されてきましたが、その中で済生会兵庫県病院から「今後、地域の基幹病院として急性期医療を維持、継続していくのは困難」との意見が出されました。

今後は、北神・三田地域の将来的な医療需要及び医療提供体制や、現状の課題を踏まえ、済生会兵庫県病院と三田市民病院との再編統合も視野に入れ、当該地域の急性期医療を将来にわたって確保するための方策を検討する検討委員会を設置します。

市民の命にかかわる急性期医療や地域の医療を守るために今後も注視していきます。



▶ 済生会兵庫県病院

